

# 競 技 注 意 事 項

## 1 競技規則について

本大会は、2024 年度日本陸上競技連盟競技規則・競技会における広告及び展示物に関する規定ならびに、本大会競技注意事項・申し合わせ事項によって実施する。また、本大会は(投てき競技、混成競技、リレー競技を除く)は、WRk 対象競技会である。対象種目は、WA 規則により実施される。

## 2 招集について

- (1) 招集所は競技場北側第4ゲート避難タワー下、100mスタート地点に設ける。
- (2) 招集開始時刻(点呼開始)及び招集完了時刻(移動開始)は競技順序に記載されたとおりとする。
- (3) 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を欠場するものとして処理する。
- (4) 招集の手順
  - ① 競技者は招集開始時刻には招集所に待機し、最終確認を受けること。  
その際、上半身は競技服装になり、アスリートビブス・競技用靴・衣類・商標・持ち物の点検を受けること。
  - ② 携帯電話・外部との通信機能のある腕時計もしくは類似の機器等を競技場内に持ち込むことはできない。あらかじめ学校関係者に預けておくこと。
  - ③ 招集所は、当該種目の競技者以外の立ち入りを禁止する。
  - ④ 代理人による招集の最終確認は認めない。但し、2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、招集開始時刻までに「2種目同時出場届」をTICに提出すること。
  - ⑤ リレー競走に出場するチームは、所定の「リレーオーダー用紙」にオーダーを記入し、その種目の各組の招集完了時刻1時間前までにTICに提出すること。また、準決勝・決勝においても、予選に準じて各組の招集完了時刻1時間前までに提出すること。
  - ⑥ 混成競技の招集は、第1日目および第2日目の最初の種目については、競技順序に記載された招集時間のおり招集所で行う。2種目以降は、混成競技者控え所で確認を受け、当該競技役員の指示に従うこと。

## 3 競技について

- (1) 当該種目出場の競技者以外は、競技場内に立ち入ることができない。
- (2) 短距離種目では、競技者の安全確保のため、フィニッシュライン通過後も自分のレーン(曲走路)を走ること。
- (3) 不正スタートについては、混成競技を除き、一度の不正スタートでその責任を有する競技者は失格とする。混成競技においては、各レースでの不正スタートは1回のみとし、その後不正スタートした競技者は、すべて失格とする。
- (4) リレーチームの編成メンバーは、どのラウンドにおいても本競技会のリレーまたは他の種目に申し込んでいる競技者であれば出場することができる。ただし、どのラウンドにおいても出場するメンバーのうち少なくとも2人は当該リレー種目に申し込んだ競技者でなければならない。最初のラウンドに出場した競技者は、その後のラウンドを通して、2人以内に限り、他の競技者と交代することができる。この規則に従わなければ、チームは失格となる。
- (5) 4×400mR の第3・第4走者は、前走者が200mスタート地点を通過した順序で、内側より並び待機する。その後、待機している走者は、この順序を維持しなくてはならず、バトンを受け取るまで入れ替わることは認められない。違反した場合は、そのチームを失格とする。なお、バトンを渡し終えた走者は他チームの進路を妨害しないように留意すること。
- (6) 4×100mR については、主催者が用意したマーカー(粘着テープ)を1ヵ所使うことができる。マーカー(粘着テープ)は競技者係から受け取る。

- (7) リレー競技でのユニフォームについて、色やデザインが同様に同一のチームと判別可能であれば、形状が異なる衣類を着用してもよい。
- (8) トラック競技の男子 5000m と女子 3000m は階段スタートで実施する。
- (9) フィールド競技における競技場内での練習は、すべて審判員の指示に従うこと。
- (10) 跳躍種目及び投てき種目のやり投の競技者は、助走路の外側（走高跳は助走路内）に主催者が用意したマーカー（2 個まで）を置くことができる。砲丸投・円盤投・ハンマー投については、サークルの直後あるいはサークルに接して主催者が用意したマーカー（1 個）を置くことができる。走高跳については、主催者が用意したマーカー（粘着テープ）を競技者係から受け取る。
- (11) 三段跳の踏切版の位置は、男子 11m00、女子 9m00 で行う（荒天時は審判長に一任）。
- (12) 混成競技の走高跳は、男女とも 2 ピットで行う。申込み時の「跳び始め調査」をもとに人数の偏りのないよう、主催者でグループ編成を行う。

#### 4 アスリートビブス（以下ビブス）について

- (1) ビブスはユニホームの胸部と背部につけること。折り曲げたり、汚したりしないこと。ただし、走幅跳・三段跳・走高跳・棒高跳は胸部または背部のみでよい。また、トラック競技出場者は、招集所で配布される写真判定機用の腰ナンバーカードを右後方（オープンでゴールする競技は左右後方）につけること。
- (2) 男女とも、5000mW と混成競技の最終種目では、別ビブス（胸部のみ）を使用する（背部はプログラム記載のビブス）。混成競技においては、総合順位（現時点）の上位者から順番に統一した別ビブスを混成競技係より配布する。

#### 5 競技場の中に商品名のついた衣類・バックを持ち込む場合について

- (1) 日本陸上競技連盟「競技会における広告および展示物に関する規則」を適用する。
- (2) 競技役員に指摘された場合は、その指示に従うこと。

#### 6 競技の抽選ならびに番組編成について

- (1) 予選におけるトラック競技のレーン順ならびにフィールド競技の試技順は、本大会申し合わせ事項に則り編成され、プログラム記載の左側に示された番号順とする。
- (2) トラック競技の準決勝・決勝については、主催者がルールに則り、組み合わせおよびレーン順を決定する。フィールド競技（走高跳・棒高跳を除く）の決勝については、3 回の試技で 8 人を選出し、記録した成績の低い順に、あと 3 回の試技をする。
- (3) トラック競技においてプラス進出者を決める場合、その最下位で同タイム者が出たとき（以下同タイム者という）は、写真判定機で拡大し、細部（電気計時 1/1000 秒）まで読み取り着差の判定をする。それでも判定できない場合は、同タイム者または代理人によって抽選する。場内アナウンス後 20 分を経過しても該当者が現れない場合は権利を放棄したものとみなす。一人も現れない場合は、主催者が代行して抽選を行う。

#### 7 競技用具について

- (1) 競技に使用する用具は、すべて主催者が準備したものを使用しなければならない。ただし、棒高跳用のポールに限り個人所有のものを使用することができる。
- (2) やりに関しては個人所有のものであっても検査を受けて使用することができる。希望者は競技開始時刻 60 分前から招集開始時刻まで（混成競技は競技開始の 60 分前まで）に TIC で「投てき用器具検査申請書」により申し出ること。ただし、検査を受け認定された用具は、「預り証」を発行のうえ本競技場の所有用具として取り扱い、参加競技者で共有できるものとする。借り上げた用具は、その競技終了後に TIC で返却する。なお、借り上げた用具が破損しても責任は負わない。

(3) 競技用靴については、WRk 申請競技会につき、WA 競技用靴規定を適用し、適用除外とはしない。

- ① フィールド競技用靴ソールの最大の厚さは 20mm、三段跳は 25mm とする。
- ② フィールド競技用靴の前の部分の中心点の靴の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
- ③ 審判長が疑義を抱いた場合、競技開始前、競技中、または競技終了後に競技用靴の検査を行う場合がある。
- ④ 競技用靴規定に違反して競技を行った場合は失格とする。

## 8 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方

(1) 走高跳・棒高跳における競技中のバーの上げ方は、最後の一人になる場合を除き、下記のとおりとする。練習の高さは、最初の高さを含め審判長の判断により原則 3 段階設定する。なお、気象条件等により変更することもある。

		練習				1	2	3	4	5	6	7	
走高跳	男子	1m70	1m85	1m96	1m75	1m80	1m85	1m90	1m93	1m96	1m99	2m02	以後 3cm きざみ
	女子	1m35	1m45	1m55	1m40	1m45	1m50	1m55	1m58	1m61	1m64	1m67	
混成走高跳	男子	1m35	1m60	1m85	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	1m63	1m66	1m69	以後 3cm きざみ
	女子	1m10	1m35	1m50	1m15	1m20	1m25	1m30	1m33	1m36	1m39	1m42	
棒高跳	男子	3m30	3m80	4m20	3m20	3m40	3m60	3m70	3m80	3m90	4m00	4m10	以後 10cm きざみ
	女子	2m10	2m60	3m20	2m20	2m40	2m60	2m70	2m80	2m90	3m00	3m10	

(2) 第 1 位が同成績の場合における順位決定のバーの上げ下げは、走高跳で 2cm、棒高跳で 5cm とする。また、男女走高跳、男子棒高跳の第 6 位と、女子棒高跳の第 4 位が同成績の場合も同様とする。

## 9 結果発表と抗議・上訴について (TR8 による)

- (1) 各種目の正式結果発表は放送で行う。また、結果についてはホームページにも掲載する。
- (2) 競技の結果または競技実施に関する抗議は、その種目の結果が正式発表されてから 30 分以内（同一日に次のラウンドが行われる種目では 15 分以内）に、競技者本人または代理人が、担当総務員を通じて口頭で行い、別室で待機する。なお、正式発表の時刻とは、放送を行った時刻とする。
- (3) 抗議に対して審判長は速やかに裁定する。審判長裁定を不服としてさらに上訴する場合は、委託金（1 万円）を添えて「上訴申立書」を TIC に提出すること。なお、「上訴申立書」の提出時刻は、抗議者に対してその旨が通告されてから 30 分以内（同一日に次のラウンドが行われる種目では 15 分以内）とする。

## 10 表彰について

- (1) 各種目とも 6 位までの入賞者は表彰をするので、競技終了後、当該競技役員によって正面スタンド下中央通路の表彰控所に誘導される。  
各学校のユニホーム（ジャージ、T シャツ、ハーフパンツ等着用）で表彰を受けること。

- (2) 団体の表彰は、男女別に総合・トラック・フィールドの部のそれぞれ3位まで行う。なお、同点の場合は、上位種目の多い学校を上位とする。混成競技の得点は、総合のみとする。
- (3) 入賞者の得点は、1位8点・2位7点・3位6点・4位5点・5位4点・6位3点・7位2点・8位1点とする。

## 11 その他

- (1) 監督は常に選手を把握し、万一選手に事故があった場合には主催者に連絡すること。
- (2) 事故については応急処置のみを行い、以後、各参加校の責任において処置すること。
- (3) 貴重品の保管については各自が行う。もし盗難にあっても責任を負いかねるので十分注意すること。
- (4) 記録の証明を希望する競技者は、庶務係に300円を添えて申込み、庶務係から受け取ること。
- (5) 当日の記録は、宮崎陸上競技協会ホームページに掲載する。
- (6) 競技場内での写真撮影は、大会本部の許可を受けること（報道カメラマンのみ許可する）。
- (7) フィールド種目については、コーチングエリアを設ける。動画確認を含めたアドバイスについてはこのエリアで行うこと。なお、走幅跳、三段跳の動画確認等については、安全面を考慮してアドバイスエリアのみとする。
- (8) 集団応援については、メインスタンド以外で行うこと。ただし、100mゴール付近にある身体障害者スペース内は禁止とする。また、フィールド種目のコーチングエリア付近での集団応援は避けること。
- (9) 各種目の6位までの入賞者（競歩5位、混成競技・女子棒高跳・女子三段跳・女子ハンマー投は4位まで）は、全国大会の出場に関する確認作業のため、表彰の後に必ず本部席まで集合すること。
- (10) 個人情報は本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません  
個人情報の取り扱い

- ①大会プログラム掲載
- ②競技場内でのアナウンス等による紹介
- ③掲示板等への掲載
- ④競技結果の報道機関・報告書等への掲載
- ⑤新記録や優勝結果等の大会プログラム（次年度以降）への掲載
- ⑥報道機関が撮影した写真・映像の公開

## (11) 提出書類等について

	提出書類	受け取り場所	提出先	提出時間
1	欠場届	監督会資料・T I C	T I C	招集開始時刻まで
2	2種目同時出場届	監督会資料・T I C	T I C	2-(4)-④参照
3	リレーオーダー用紙	監督会資料・T I C	T I C	2-(4)-⑤参照
4	アップライト等申告書	監督会資料・T I C	競技者係	招集時に
5	投てき用器具検査申請書	T I C	T I C	招集開始時刻まで
6	抗議申し立て(口頭)	総務	担当総務員	9-(2)参照
7	上訴申立書(文書)	総務	担当総務員	9-(3)参照
8	記録証交付願	庶務	庶務	随時
9	別アスリートビブス	競技者係(招集時)		競技終了後回収
10	プログラム訂正届	監督会資料・T I C	各県専門委員長	随時